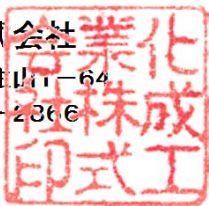


承認願図

品名	ドラSシール（T=20 水膨張）/24
----	---------------------

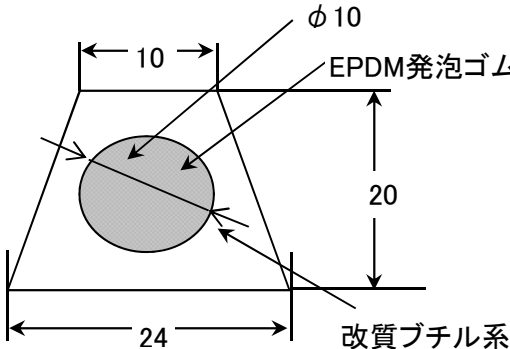
平成 年 月 日

化成工業株式会社
大府市横根町坊主山1-64
TEL:0562-44-2366



御中

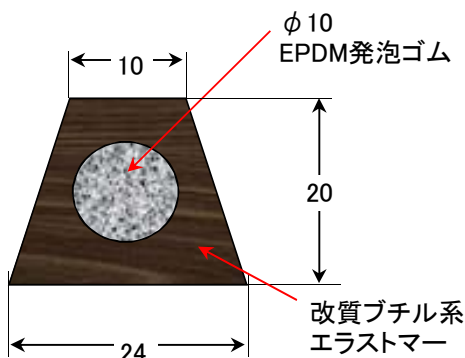
試験成績書

ドラSシール(T=20 水膨張タイプ)/24							
							
A 中芯 (EPDMスポンジ)				B 粘着層 (特殊弾性ブチルゴム)			
テスト項目	テスト結果	規格値	テスト方法	テスト項目	テスト結果	規格値	テスト方法
比重	0.53	0.5±0.1	JISK6268	比 重	1.42	1.4±0.1	JISK6268
硬さ(Hs・C)	33	30±5	JISK6253	不揮発分	99.9	95以上	JISK6398
引張強さ(N/mm2)	1.95	1.7以上	JISK6251	引張強さ(N/mm2)	0.85	0.04以上	JISK6251
伸び(%)	290	250以上	JISK6251	伸 び (%)	1500	1000以上	JISK6251
				ダレ変形性	異常無し	ダレ変形 無き事	試料をアルミ版に粘着し80℃×24hr後の状態
				硬 度 20℃	38	40±5	JISK6253A

ドラSシール (T = 20、水膨張タイプ)/24

ドラSシールはブチルゴムでは得ることが出来なかった特長を付加したシール材で、高止水タイプとして使用できるシール材です。今までの高止水タイプのシール材より取り扱いがよく、しかも現状のブチルゴムと設備共用ができる為、安価に提供する事が可能な商品です。

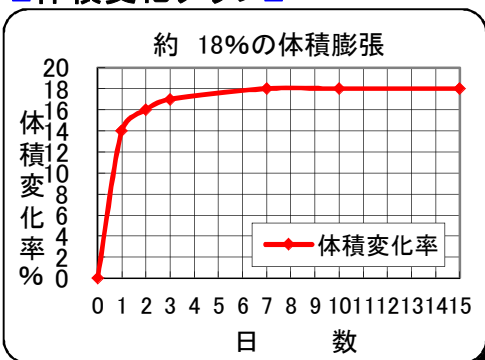
■製品図■



■梱包(荷姿)■

5.8M×5巻入り(29M/ケース)

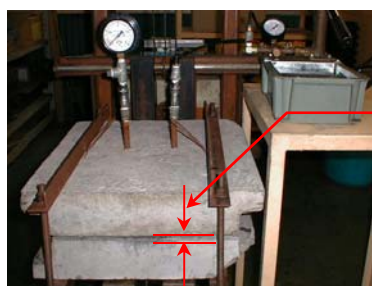
■体積変化グラフ■



- * 体積変化率 = 浸水後の体積変化量 / 浸水前の体積 × 100
- * 圧縮荷重値は、通常のドラSシールと同じ値になります。

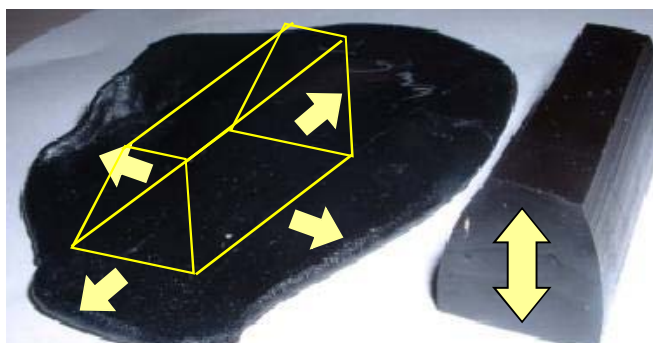
■水密テスト■

コンクリート水密試験機



目地幅

■圧縮荷重開放時の状況■



未加硫ブチルゴムは流動したまま復元しない

改質ブチル系エラストマーは流動せず復元している

[注意] 製品が長時間紫外線にさらされる場合、ドラSシールに同梱されている保護フィルムを使用上の注意を参照の上、貼り付けをお願いします。

■特長■

- ①ブチルゴム材料との比較
特殊な配合・加工技術により未加硫のブチルゴムに無かった圧縮復元力が付加され圧縮後の目地開き(地盤の変化)に対応が可能となりました。
また復元性があるので コンクリート設置のやり直し・微調整においても未加硫のブチルゴムと違い型崩れが少ないです。しかも未加硫ブチルゴムと同等の粘着性をもっているのでコンクリートへの接着も良好です。
- ②ドラSシールの部材の特徴
スポンジが入っているので圧縮復元性をたすけ、圧縮荷重曲線が緩やかになりコンクリートの締め付けが容易になります。

結果

圧力 (MPa)	目地幅(mm)			
	5	7.5	10	12.5
0.06	○	○	○	○
0.10	○	○	○	×
0.15	○	○	○	×
0.20	○	○	×	×
0.25	○	×	×	×

3日後に漏水ストップ

○3分保持 ×漏水

* 当社コンクリート水密試験でのデータです(保証値ではありません)。実際の使用条件等により、止水性能が異なる場合があります。

製品改良のため、製品仕様・梱包・価格などを予告なく変更する事がありますので、あらかじめ御了承下さい。

化成工業株式会社
愛知県大府市横根町坊主山1-64
TEL(0562)-44-2866

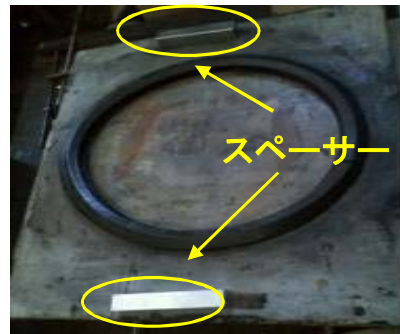
ドラ S シール (T = 20、水膨張タイプ) / 24

■水密試験方法■

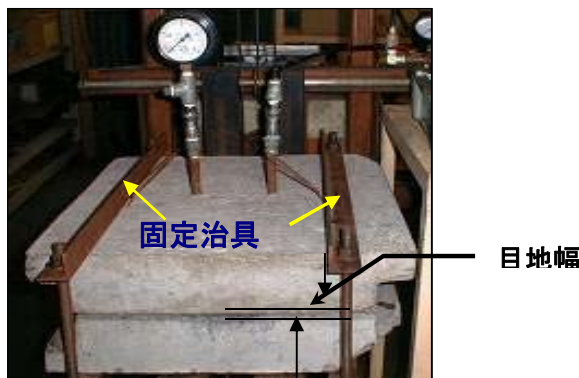
- 1) コンクリート土台にリング状に繋いだ試験片(ドラSシール)をセットする。



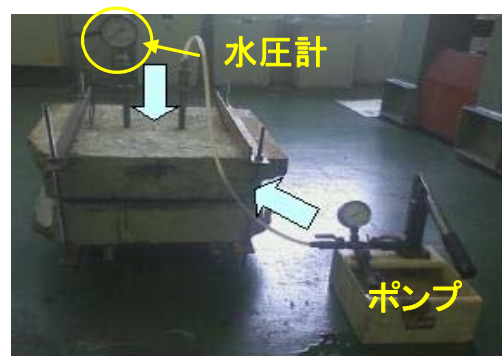
- 2) 所定の目地幅に調整する為、目地幅に合わせた高さのスペーサーをセットする。



- 3) コンクリート上蓋を載せて、治具にて固定する。
スペーサーにより所定の目地幅に設定される。



- 4) ポンプにて所定の水圧になるまで水を送る。
※試験片のリング内から水圧が掛かる。



- 5) 各水圧(0.06、0.10、0.15、0.20、0.25Mpa)にて3分間止水できているか、水圧計と目視にて確認する。



- 6) 各目地幅にて、同様の試験を行い、止水の有無の確認をする。

※ この水密試験機は実際のコンクリート製品と同等のコンクリートにて作成しております。
一般的にアクリル材や鉄板を用いて試験するケースが多いですが、表面がこれらの材質ですと水漏れを起こす心配は殆ど無く、実際の使用状況を考え、弊社では、このようなコンクリートを使用した試験機にて測定を行っております。